

学校だより



津市立櫛形小学校

R3.12.10 発行

第13号 文責：校長

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本年5月に6年生を対象に実施された「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。6年生の児童に対しては、担任から設問に関して解説をして2学期末に個票を返します。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。全国との比較という観点もありますが、大切なのは、児童が自分自身の学習状況や生活習慣をしっかりと振り返る機会にすることだと思います。自分の強みはさらに伸ばし、弱みは克服していく取組が大切です。保護者の皆様には、お子様の得意なことやがんばりを認めながら、今後の学習や生活の励みとなる声かけをお願いいたします。

本校では、この調査だけでなく、みえスタディ・チェックも含め、全教員で本校の強み、弱みを明らかにし、ご家庭や地域の協力をいただきながら、授業および指導改善、学習習慣の定着、学力の向上につなげていきたいと考え、既に取り組を進めています。以下に本年度の本校の結果と取組内容をお知らせします。

学力調査結果

【平均正答率（％）】



	国語	算数
櫛形小学校	津市・三重県・全国を上回る	
津市	64	68
三重県	64	69
全国	64.7	70.2



（国語について）

「知識及び技能」において、漢字や主語と述語の関係についての正答率が高かったですが、修飾語がどの言葉を修飾しているかの問題に誤答がみられました。領域別に見ると、領域A「話すこと・聞くこと」での正答率が高く、高学年として話す聞く機会が多いことからこの領域の力がついていると考えられます。領域B「書くこと」においては、複数の条件を満たした文章を書くこと、領域C「読むこと」においては、目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることに課題が見られました。今後も、文字数や使う言葉などを条件に入れた条件作文に取り組みことや授業の振り返りの中でも条件を提示して書くことに取り組みことを継続していきます。また、引き続き読書を推奨し、いろんな言葉や文章に出会えるようにしていきます。

（算数について）

領域A「数と計算」、領域B「図形」、領域C(ii)「変化と関係」、領域D「データの活用」については正答率が高かったですが、領域C(i)「測定」において、課題が見られました。複数の図形を組み合わせた図形の面積を比べることや面積の求め方と答えを記述する問題、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算する問題に誤答がみられました。算数においても、自分の考えを文字や式を入れて書き表すことや、なぜそうなるのか等の理由を説明する力がつくように取り組んでいきます。また、決められた時間内でやりとげる力がつく取組も継続していきます。

児童質問紙の結果

全員が、人が困っているときは進んで助けている、人の役に立つ人間になりたいと思っていますが、将

来の夢や目標を持っている割合や難しいことでも失敗を恐れないで挑戦すること、自己肯定感は低い傾向を示しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでと異なる状況の中で、教育活動の様々な場面で子どもたちが達成感をもてるよう、子どもたちの学習の定着状況を把握しながら、主体的に取り組める授業づくりや自主学习ノートの掲示板を使って全校に発信する取組等を進めています。今後も様々な活動を子どもたちに寄り添いながら進め、「認める、励ます」等を通して、自尊感情の醸成に努めていきます。

現在の5年生の児童については、来年度の全国学力・学習状況調査は、令和4年4月19日（火）に行われます。国語、算数、理科、児童質問紙の調査です。また、3学期には、第2回みえスタディ・チェック、国語と算数がCBT方式で行われます。（Computer Based Testing とはコンピュータを使った試験方式のこと）

～できることを考え取り組んだ「大なわ大会」、「5年デイキャンプ」～

12月3日（金）の午前中に大なわ大会、午後から5年生のデイキャンプを実施しました。

今年度は持久走から大なわとびに種目を変更して、この時期の体力作りを行いました。また、個人や学級のめあてに向かって、最後までやりきることもねらいとし、11月24日（水）から業間にも大なわ運動に取り組んでいました。毎日、跳んだ回数を記録し、めあての振り返りをして次につなげ、当日、どの学年も最後までやりきる素敵な姿を見せてくれました。また、感染症対策にご協力いただき受付を済ませていただいた保護者の方々が応援にかけつけてくださいました。保護者の方々に見守っていただいたことは子どもたちの大きな力になったことと思います。ありがとうございました。



午後からは5年生がデイキャンプを行いました。平和学習のみ、当初より予定していた10月1日（金）に神戸の青少年野外活動センターで実施しましたが、それ以外は、楡形小学校での活動となりました。キャンプファイヤーに代わるお楽しみは何かを5年生の子どもたちが考え相談し、企画・運営を自分たちでやりとげることができました。夕食の飯盒炊飯もカレー作りも成功することができました。5年生10人が、「何でも挑戦！あい言葉は「ナイス！」「ありがとう！」最高のキャンプにするぞ！ファイ10！！」のスローガン通り、たくさん挑戦し、みんなで楽しい時間を創り上げ、成功体験を積み重ねることができました。10人で力を合わせたデイキャンプの経験は、高学年としての自覚を一段と高めることができました。保護者の方々には、当日のお迎えだけでなく、前日までの準備や体調管理も含めご支援ご協力いただきました。ありがとうございました。

